

製品名: グリピカン-3 ウサギポリクローナル抗体**カタログ番号: APRab11522**

研究使用のみ

概要

説明	ウサギポリクローナル抗体
宿主	うさぎ
応用	WB,IHC,ICC/IF,ELISA
反応性	ヒト、マウス、ラット
標識	非共役
修飾	未修正
アイソタイプ	IgG
クローン性	ポリクローナル
形態	液体
濃度	1mg/ml
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	50% グリセロール、0.5% 保護タンパク質、0.02% 新タイプ防腐剤 N を含む PBS 液。
精製	アフィニティー精製

応用

希釈倍率	WB 1:500-1:2000,IHC 1:100-1:300,ICC/IF 1:50-1:200,ELISA 1:10000-1:20000
分子量	70kDa

抗原情報

遺伝子名	GPC3
別名	GPC3; OCI5; Glypican-3; GTR2-2; Intestinal protein OCI-5; MXR7
遺伝子 ID	2719.0
SwissProt ID	P51654
免疫原	抗血清はヒト GPC3 の内部領域由来の合成ペプチドに対して作製された。アミノ酸範囲: 461-510

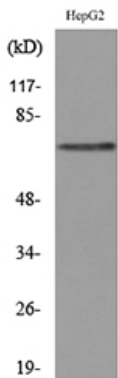
背景

細胞表面ヘパラン硫酸プロテオグリカンは、膜結合タンパク質コアが様々な数のヘパラン硫酸鎖に置換された構造をしています。グ

リピカン関連膜貫通型プロテオグリカンファミリー (GRIPS) のメンバーは、グリコシルホスファチジルイノシトール結合を介して細胞質膜に固定されたコアタンパク質を含んでいます。これらのタンパク質は、細胞分裂と増殖の制御に関与している可能性があります。この遺伝子によってコードされるタンパク質は、CD26 のジペプチジルペプチダーゼ活性に結合して阻害し、特定の細胞種においてアポトーシスを誘導します。この遺伝子の欠失変異は、シン普森・ゴラビ・ベームル症候群 (シン普森異形症候群とも呼ばれます) と関連しています。選択的スプライシングにより、複数の転写産物バリエーションが生じます。 [RefSeq 提供、2009年9月],疾患: GPC3 の欠陥は、シン普森・ゴラビ・ベームル症候群 (SGBS) [MIM:312870]の原因です。シン普森異形症候群 (SDYS) としても知られています。SGBS は、出生前および出生後の過成長 (巨人症) と内臓および骨格の異常を特徴とする疾患です。機能: ヘパラン硫酸を含む細胞表面プロテオグリカン。機能: ヘパラン硫酸を含む細胞表面プロテオグリカン。主に中胚葉の組織および器官における成長の抑制 / 調節に関与している可能性があります。IGF2 とその受容体との相互作用の調節に役割を果たし、それによって IGF2 の機能を調整する可能性があります。成長と腫瘍素因を調節する可能性があります。類似性:グリピカンファミリーに属します。組織特異性:肺、肝臓、腎臓で高く発現します。、

研究分野

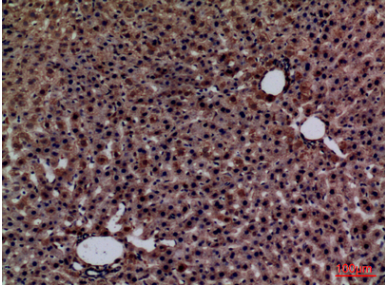
画像データ



GPC3 抗体を使用した HepG2 細胞の溶解液のウェスタンブロット分析。



グリピカン 3 ポリクローナル抗体を用いた HepG2 細胞のウェスタンブロット分析。二次抗体は 1:20000 に希釈されました。



パラフィン包埋ラット肝臓の免疫組織化学分析、抗体は 1:100 に希釈された